

令和7年 2月 6日

保護者の皆様

稲沢市立治郎丸中学校長

近 藤 慎 二

教育活動におけるアンケート調査「学校評価」の集計結果について（報告）

向春の候、保護者の皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、本年度に実施した教育活動におけるアンケート調査「学校評価」につきまして、集計結果および来年度に向けた方向性がまとまりましたので、報告させていただきます。

記

1 本校の教育目標

未来の豊かな社会を築くために、知・徳・体の調和のとれた人間形成と個性の伸長を図るとともに、多様な他者と協働しながら新しい価値を創る生徒を育成する。

2 目指す治中生の姿

＜創造＞ 主体的に行動し、仲間と協働する生徒

＜勤勉＞ 夢や希望の実現に向けて努力する生徒

＜礼儀＞ 治中生としての誇りを大切にする生徒

3 本年度のキャッチフレーズ

【自分を伸ばそう みんなとつながろう 治中を愛そう】

4 生徒アンケート

(1) 生徒アンケートの内容

質問1 学校や学級は楽しく、ホッとできる心の居場所になっている。

質問2 授業は、「わかる」「できる」。

質問3 自分で考えて行動（自律）し、学級や学年の仲間と、よりよい人間関係を築いている。

質問4 「自分らしい生き方をしよう」「自分の夢や希望を実現しよう」としている。

質問5 「自分自身」「他者」「集団や社会」「生命や自然」に対して、よりよく生きようとしている。

質問6 学校行事や生徒会活動、部活動などを通して、社会の中で生活していくために必要な力を高めようとしている。

質問7 日頃の生活から、心も体も健康になるような生活を心掛けている。

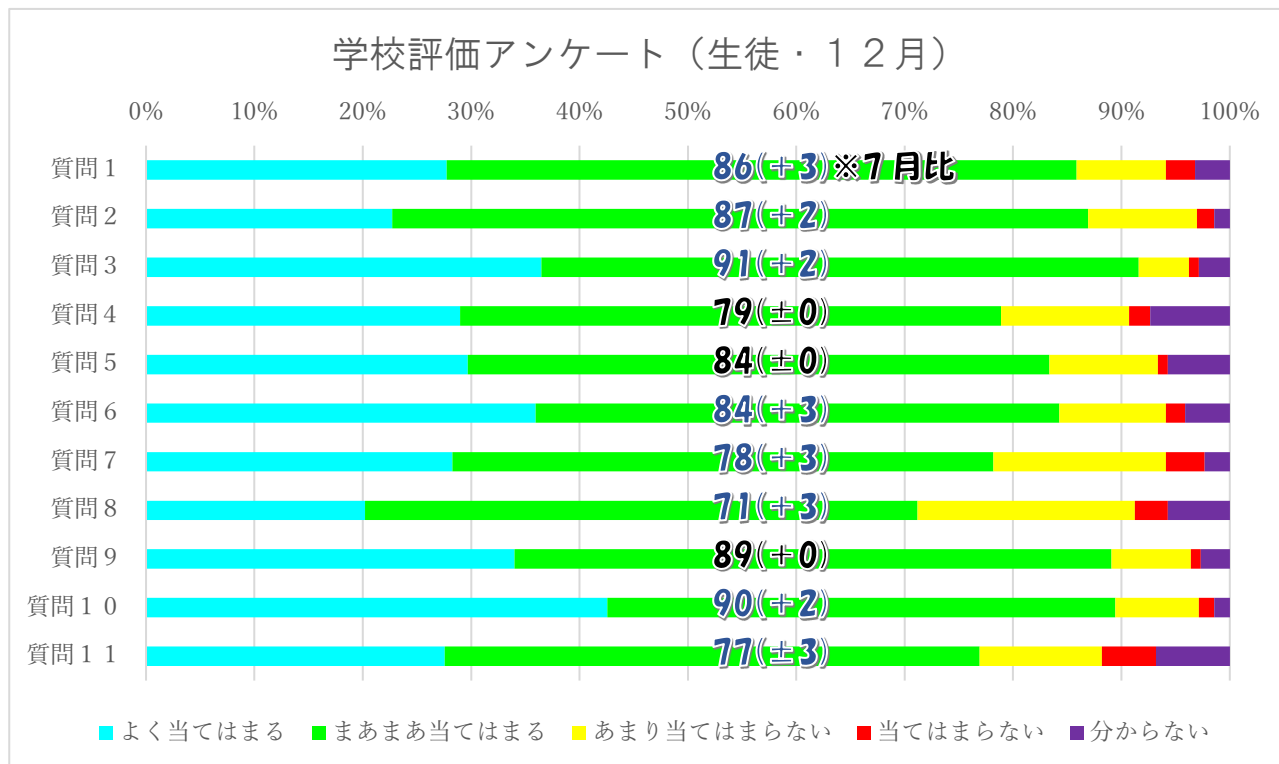
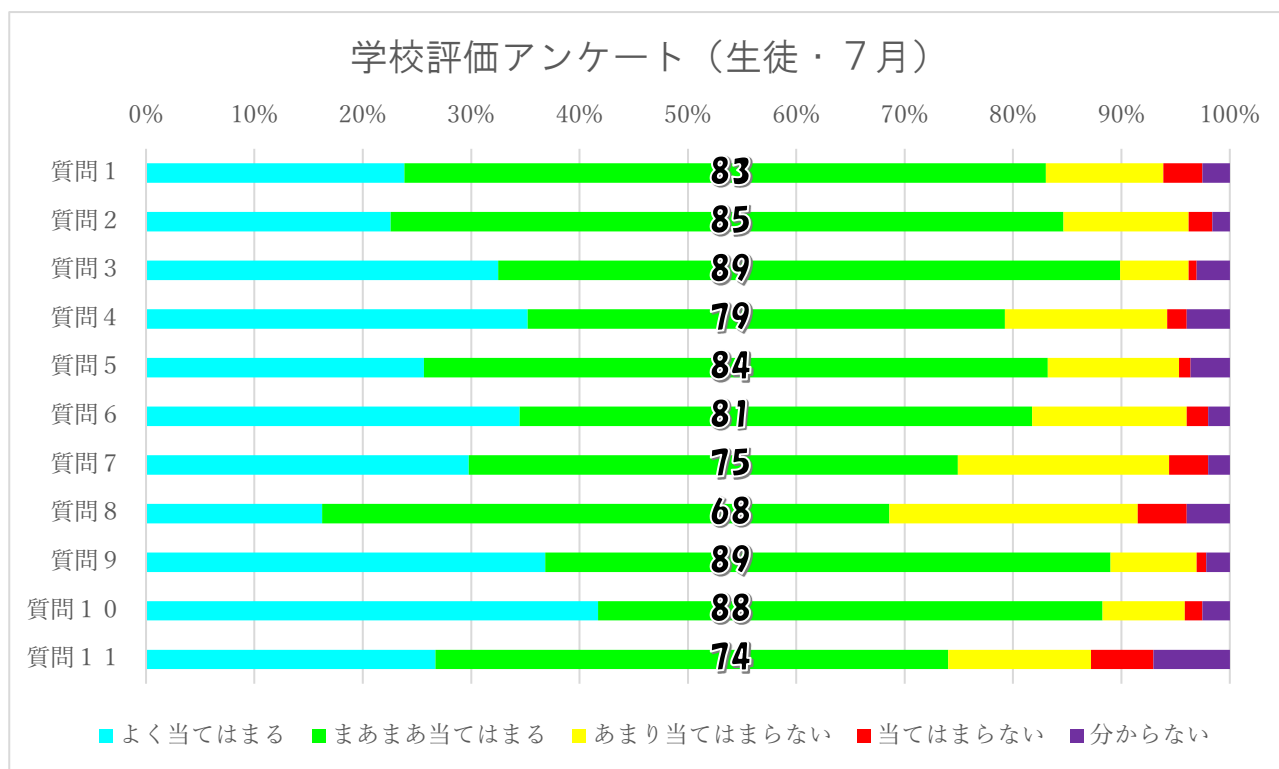
質問8 治中生としての自覚をもち、家庭や地域のために貢献している。

質問9 【自分を伸ばそう】としている。

質問10 【みんなとつながろう】としている。

質問11 【治中を愛そう】としている。

(2) 生徒アンケートの結果 ※グラフ内の数値は、「よく当てはまる」「まあまあ当てはまる」の割合を合計したもの



(3) 結果の分析および今後の方向性

- ① すべての項目において、「よく当てはまる」「まあまあ当てはまる」という肯定的な回答が多く見られた。また、多くの項目において数値の上昇が見られた。

→ 今年度の「治郎丸中学校の教育」が、概ね達成できていたと思われます。一つ一つの手だてを、よりよいものに見直ししながら、引き続き、「知徳体」をバランスよく育てていきます。

② 質問4『自分らしい生き方をしよう』『自分の夢や希望を実現しよう』としている」の肯定的な回答の割合が他と比べて低く、数値の上昇が見られなかった。

→ 引き続き、特別活動（学級活動、生徒会活動、行事など）や総合的な学習の時間などにおいて、以下の4つの機会を意識し、生徒のキャリア形成に努めていきます。

- ・ 自己理解を深めるために、自己分析をしたり自己表現をしたりする機会
- ・ 自分自身の成長を実感するために、目標設定と定期的な振り返りをする機会
- ・ 地域の方との交流や職場体験学習などを通して、人生の「先輩」と交流する機会
- ・ 地域行事や学校行事、生徒会活動など生徒が主体的に活動し、自分の可能性を試す機会

③ 質問11「【治中を愛そう】としている」の肯定的な回答の割合が、質問9「【自分を伸ばそう】としている」および、質問10「【みんなとつながろう】としている」と比べて低い。

→ 本年度、キャッチフレーズを一新して、あらゆる場面で示してきました。肯定的な回答の割合が高く、数値が上昇していることから、生徒にも浸透しつつあると言えます。

「【治中を愛そう】としている」の数値が他の2つと比べて低かったこととして、【治中を愛そう】が抽象的で分かりにくかったことが考えられます。今後、生徒の生活場面に合わせて、具体的な行動を生徒と一緒に考えていこうと思います。

また、令和7年度は創立50周年を迎え、いろいろな記念行事も行う予定です。そういった機会に、治郎丸中学校の歴史に触れ、卒業生や地域の方との交流を通して、治郎丸中学校を大切にしよう（【治中を愛そう】）という意識を高めていこうと思います。

2 保護者アンケート

(1) 保護者アンケートの内容

質問1 学校は、「楽しい学校づくり」「心の居場所となる学級づくり」に努めている。

質問2 学校は、「わかる、できる」授業を行っている。

質問3 学校は、思いやりを満たした温かい人間関係の構築に努めている。

質問4 学校は、自分らしい生き方や自己実現に向かう意欲を高めている。

質問5 学校は、道徳的な判断力、道徳的な心情、道徳的な実践意欲と態度を育てている。

質問6 学校は、学校行事や生徒会活動、部活動などを通して、社会性を育てている。

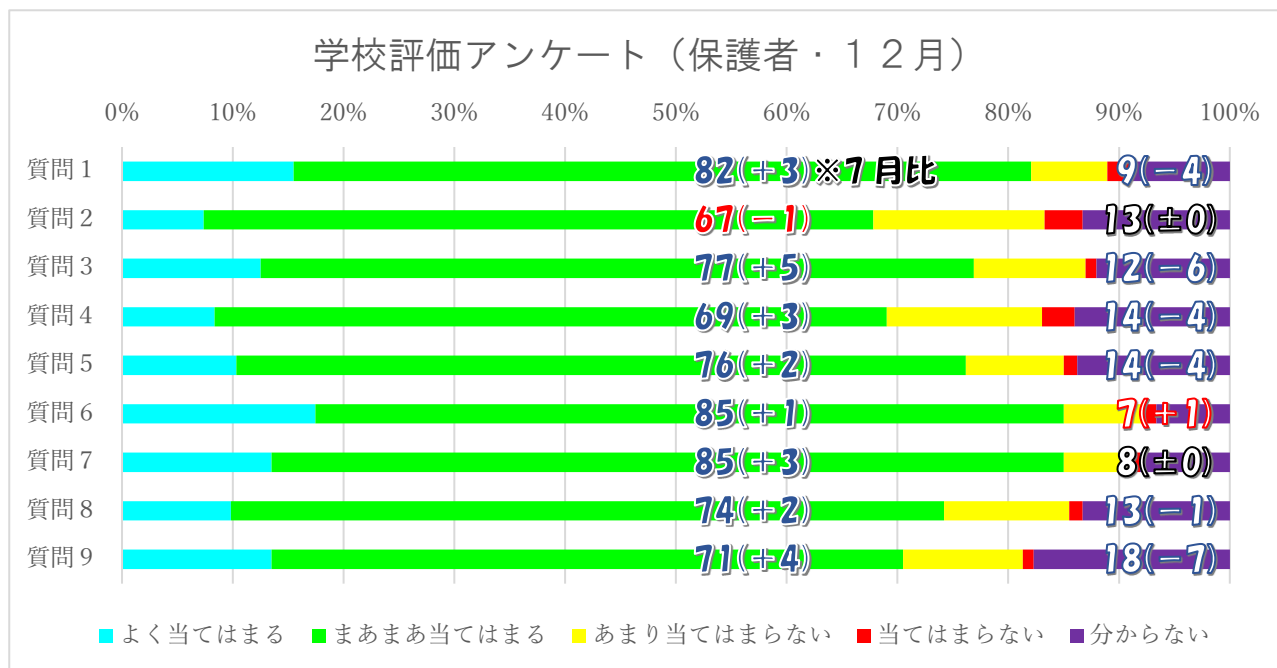
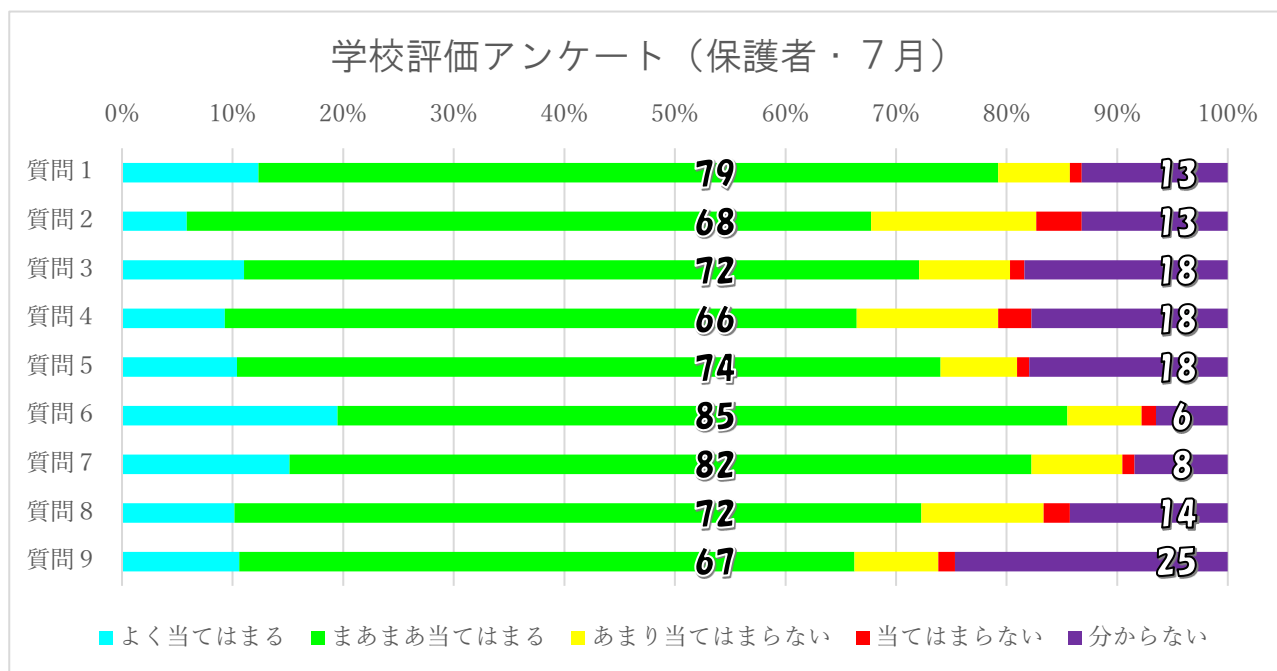
質問7 学校は、健やかな心と体づくりに努めている。

質問8 学校は、保護者・地域の方々とともに学校づくりに努めている。

質問9 学校は、本年度キャッチフレーズとして掲げている

【自分を伸ばそう みんなとつながろう 治中を愛そう】を意識した教育活動をしている。

(2) 保護者アンケートの結果



※グラフ内の数値（黒）は、「よく当てはまる」「まあまあ当てはまる」の割合を合計したもの

※グラフ内の数値（白抜き）は、「分からない」の割合を示したもの

(3) 結果の分析および今後の方向性

- ① 概ねすべての項目において、「よく当てはまる」「まあまあ当てはまる」という肯定的な回答が多く見られる。

→ 本年度の「治郎丸中学校の教育」が、概ねご理解いただけたと考えられます。一つ一つの手だてをよりよいものに見直しながら、引き続き、「知徳体」をバランスよく育んでいきます。

② 質問2「学校は、『わかる、できる』授業を行っている」の肯定的な回答の割合が他と比べて低い。

→ 本年度から3年間に渡って、愛知県総合教育センターとの共同研究で、「探究的な授業づくりの在り方」について研究していきます。教師主導ではなく、「生徒の中から湧き出してくる問いがある授業」「問いを解決するためのプロセス重視の授業」を行い、生徒がより「わかる、できる」と感じられるように努めます。

定期テストの難易度について、多数のご意見をいただきました。定期テストは、学習内容の理解・定着をはかるために実施しています。生徒が自身の成長や課題を感じられ、また、教員が指導の改善につなげられるような定期テストとなるように、引き続き努めていきます。

③ 質問4「学校は、自分らしい生き方や自己実現に向かう意欲を高めている」の肯定的な回答の割合が他と比べて低い。

→ 生徒アンケートの「結果分析および今後の方向性」の②と同様に、引き続き、生徒のキャリア形成に努めていきます。

また、生徒のキャリア形成には、教職員や保護者といった身近な大人の存在が欠かせません。学校と家庭が同一歩調で進められるよう、これまで以上に、学校での活動を積極的に発信し、家庭での様子を教えていただくなど、学校と家庭が連携できることを目指します。

④ 全体的に「分からない」という回答が減少している。

→ 引き続き、ホームページやおたより等で、学校での生徒の様子を積極的に発信していきます。また、生徒が家に帰った後、思わずお家の人に話したくなるような「分かる、できる授業」「心の居場所となる学級」「楽しい学校」をつくっていくように努めていきます。

(4) 寄せられた意見と回答（一部のみ）

・ 南館のトイレが古いので対応してほしい。

→ 学校単独の予算では対応できないため、早期改修を稲沢市へ要望しています。稲沢市の計画では、市内の学校において順次工事をしていき、令和9年度までにすべての校舎棟のトイレを洋式化・ドライ化するとしています。

・ 体育館の冷暖房を積極的に活用してほしい。

→ 本年度、本校を含めて稲沢市内4つの中学校の体育館にエアコンが設置されました（残りの中学校は、令和7年度に実施予定）。稲沢市から予算の割り当てが決まっており、使用できる時間数については制限されています。卒業式などの式典や全校集会など、学校行事や全校生徒が集まる時間に優先的に使用していこうと考えています。それらの時間数を見ながら、体育の授業や部活動での使用も検討していきたいと思います。

- ・ 体育祭が盛り上がっていてよかった。（男女混合リレーや教員参加種目など）
- ・ 保護者の観覧スペースについて、場所や位置をもう少し工夫してほしい。
 - 来年度、当日までの準備（練習）期間の確保が難しいこともあり、午前中だけの半日開催とする計画をしています。100m走などの「個人種目」ではなく、リレーや大縄跳びなど、学級のみんなで力を合わせて参加する「チーム種目」、実行委員が中心となって計画・運営をする「学年種目」「全校種目」などを実施する予定です。

保護者の観覧スペースについて、今年度はクラブハウス前も保護者席として開放しました。生徒の控え席と一緒に写真を撮りたいという要望も多くいただきましたが、不審者対策等の安全管理上、そちらについては考えていません。来年度以降、さらに多くの方に見ていただきやすくなるように工夫していきます。
- ・ 生徒たちが主体となって、活躍できる機会がもっとあるとよい。
 - 来年度、治郎丸中学校は創立50周年を迎えます。10月に実施する「記念式典」の中で、生徒有志による「記念ステージ」を行うことを計画しています。時間的に、出場できる人数（団体）は限られますが、歌やダンス、お笑いなど生徒が自分たちの得意を生かして、50周年という節目を盛大に盛り上げてもらいたいと思います。「記念ステージ」には、地域有志、職員有志も参加する予定です。
- ・ 服装や頭髪など、校則（心得）を柔軟に見直して欲しい。
 - 本年度は、通学用力バンについての規定を見直ししました。今後も、生徒や地域からの声も聞きながら、生徒指導部を中心に、迅速に検討・対応を進めています。

また、後期生徒会執行部が「聞かせてリンク」という、オンライン目安箱を立ち上げました。そちらに寄せられた意見についても、今後、校則（心得）を見直す際のヒントとしていきます。
- ・ 部活動の予定をもう少し早くほしい。
 - 練習試合等の詳細は、後日の連絡になることもあるかと思いますが、以下のようにします。
 - ・ 学校全体の「月予定」を、前月の10日までに配信します。
 - ・ 部活動の予定を、前月の15日までに配信（配付）します。
 - ・ 本年度の3月分の配信（配付）から実施します。

※ 配信後の変更については、tetoru等でお伝えします。